

富山県若手農業者の就農事例集



令和 2 年 11 月

農林水産省

北陸農政局富山県拠点

はじめに

現在、我が国の基幹的農業従事者(※)の年齢構成は、65歳以上が7割を占め、49歳以下が1割程度と、とてもアンバランスな状況にあります。今後、持続可能な力強い農業を実現していくためには、農業を新しく始める「新規就農」をさらに増やし、世代間バランスの取れた農業就業構造にしていくことが大切です。

農林水産省では、新しい農業人材を育成・確保するため、就農の準備から就農後も、地域の関係者が協力してサポートする体制づくり、就農前の技術習得のための研修や就農直後の経営確立を支援する資金の交付など、様々な支援を行っています。また、ホームページにおいて、「農業ってどう始めたらいいんだろう？」という方に向けた情報発信も行っています。

北陸農政局富山県拠点では、農業高校生などの若い皆さんの就農のきっかけづくりになればと、県内で就農している若手農業者12名の方から就農に当たって大事なこと、苦労したこと、就農を目指す人へのメッセージなどについてお聞きし、本事例集をとりまとめました。

先輩の経験談を参考に、ひとりでも多くの方の就農につながれば幸いです。

最後に、本事例集の作成にあたって、若手農業者をはじめ富山県農林水産公社、とやま農業未来カレッジなど関係者の方々にご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

令和2年11月

北陸農政局 地方参事官(富山県担当)



(※)基幹的農業従事者とは、自営農業に主として従事した世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者をいう。

【留意事項】

- 掲載情報は編集時点のものであり、常に最新のものと限りませんので御了承ください。
- 事例は、関係者の皆さまに御了解をいただき掲載しています。画像等の転記・無断使用はお控えください。

～目 次～

- 農業を職業とするにはP1
- 12名のみなさんに聞きました！
就農にあたり、どのような準備をしましたか？P2～P3
- 若手農業者の就農事例(順不同)
 - ★各川 豊章さん(富山市) 水稻、野菜(小松菜)P4
 - ★青沼 光さん(高岡市) 畜産(酪農)P5
 - ★中川 雅貴さん(高岡市) 法人へ就職P6
 - ★島澤 耕平さん(魚津市) 水稻、野菜(小松菜)P7
 - ★稗苗 良太さん(魚津市) 水稻P8
 - ★上野 達也さん(氷見市) 果樹(ブルーベリー)P9
 - ★柴田 泰利さん(砺波市) 水稻、大豆、野菜(トウモロコシ他)P10
 - ★宮崎 雄介さん(砺波市) 果樹(ぶどう)P11
 - ★横山 重嗣さん(砺波市) 水稻、麦、大豆P12
 - ★松本 剛明さん(射水市) 野菜(いちご)、果樹(もも)P13
 - ★森川 明浩さん(立山町) 畜産(肉用牛)P14
 - ★米原 章浩さん(入善町) 水稻、野菜(ミニトマト他)P15
- 国・県からの就農情報P16～P19
- 各種支援制度の紹介P20～P28
- お知らせP29～P30

農業を仕事とするには

Q. 農業に興味はあるけれど、どうやって始められるの？

A. 農業への道はいろいろあります。高校生向けの代表的な就農までのルートを紹介します。

農業を知る ◆就農した先輩や農業経営者の話を聞く

体験する ◆農業インターンシップで農業体験をする

高校卒業後、さらに農業を学ぶ

◆公的研修機関等で農業技術や経営を学ぶ

◆先進農家や農業法人で研修を受ける

(☆高校卒業後、すぐに就農することもできます)

就農に向けて準備する

◆就農イベントに参加するなど、
農業法人の求人情報を収集し、
就職先を探す。

◆法人を訪問、体験入社する

◆就農計画を作成する

◆機械や農地など経営を開始
する準備をする

(☆親の経営に入る場合を除きます)

雇用就職する

★農業法人＝農業を
営む会社に就職する

自営就農する

★自ら農業経営を始める
★農家出身の方が、親や祖父母の
経営に参画して一緒に農業を行う

農業法人で一定の経験を
積んだ後、独立の道も

12名のみなさんに聞きました！ 就農にあたり、どのような準備をしましたか？

実家等の農業を継ぐ、農業法人に就職する、自分で起業して農業を始める、農業の始め方は大きく3通り。どこで、何を作るかによっても仕事の内容は様々です。まずは、気軽に参加できる農業体験や先輩農業者等の事例を見て、自分の理想のイメージを描いてみましょう。農業を実践的に学べる学校や、就農について何でも相談できる窓口、様々な支援策もあります。

本事例集に掲載した12名の方から、以下の4点についてお聞きました。

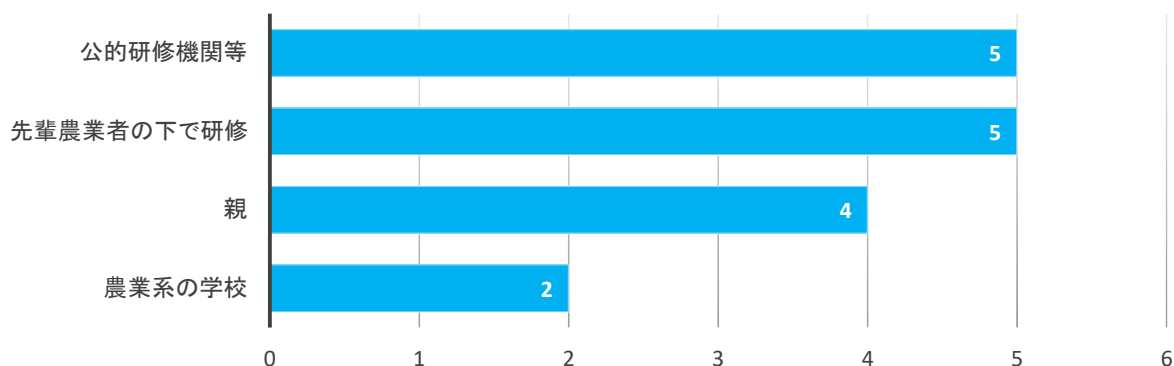
1 どこで農業を学びましたか

就農前に「農業を学んだところ」は、公的研修機関等が5名、先輩農業者の下で学んだ方が5名、親からの指導を受けた方が4名、農業系の学校が2名でした。

公的研修機関等には、とやま農業未来カレッジ(P19)、県農林振興センター主催の講習会やJAの研修など、農業系の学校には、4年制大学の農学部や他県の農業大学校がありました。

農業系の学校や研修機関で学んだあと、さらに先輩農業者の下で実際の作業等を学ぶケースもみられました。

農業を学んだところ（複数回答）

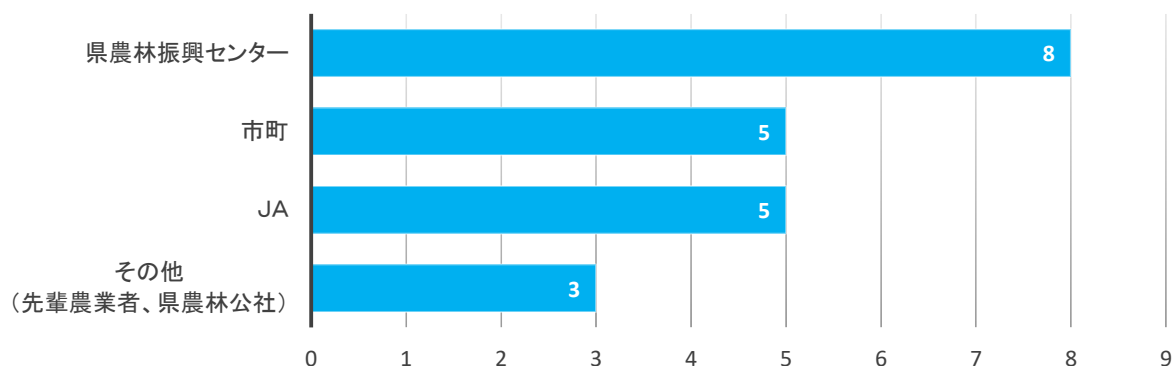


2 どこから協力・支援を得ましたか



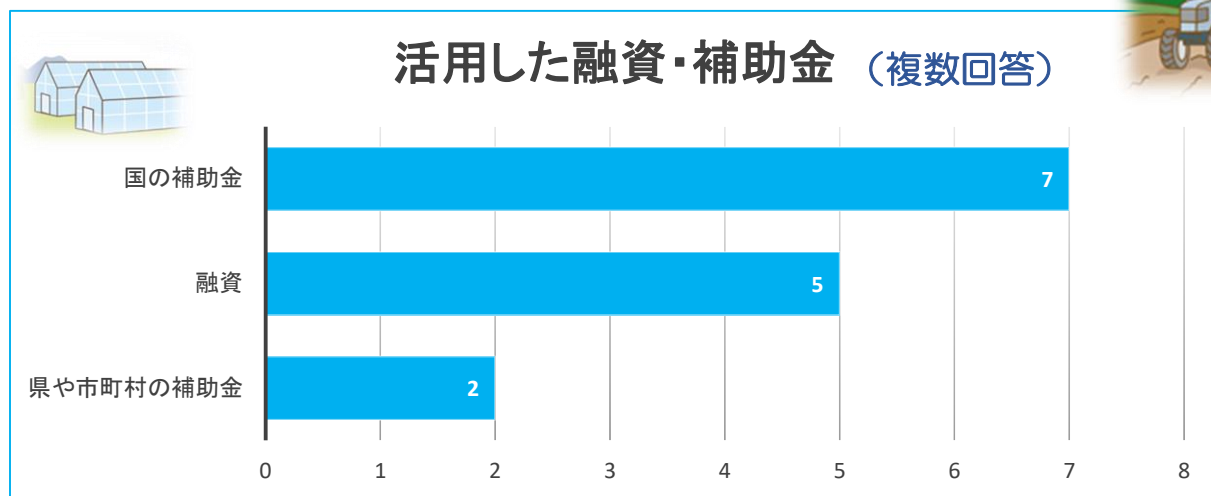
就農にあたって「協力や支援を得たところ」は、県農林振興センターが8名、市町村とJAがともに5名で、ほとんどの方が行政・JAから協力や支援を得ていました。

協力・支援を得たところ（複数回答）



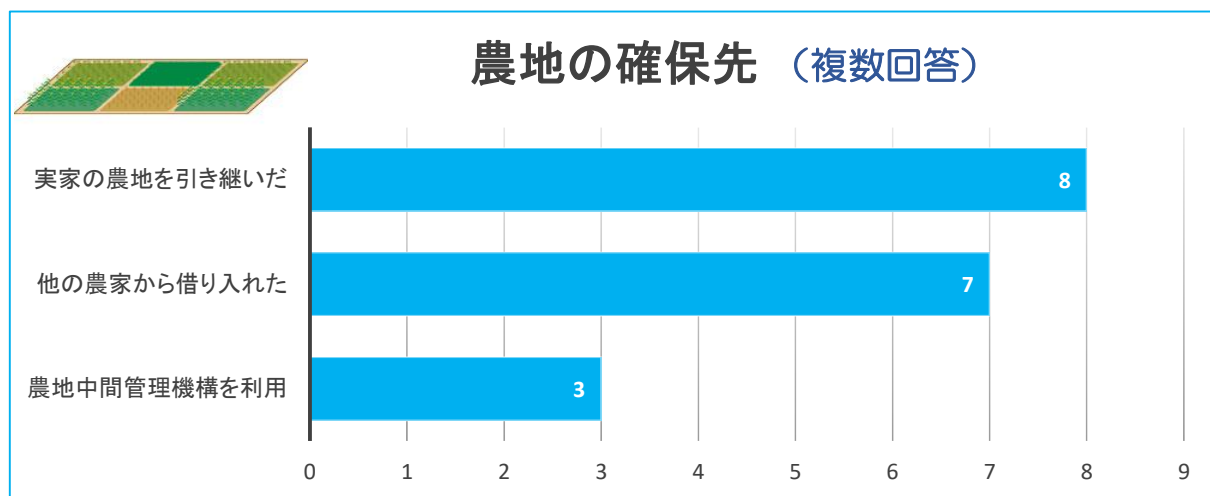
3 融資や補助金を活用しましたか

就農にあたって「融資や補助金の活用」を聞いたところ、国の補助金を活用した方が7名、融資を活用した方が5名、県や市町村の補助金を活用した方が2名でした。国の補助金や融資は、P20から紹介しています。



4 農地は、どのように確保しましたか

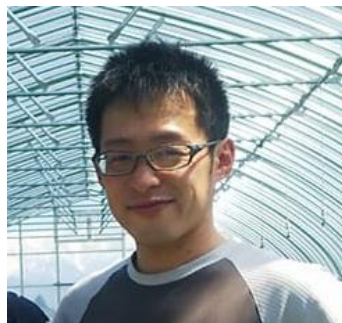
就農にあたって「どのように農地を確保したか」聞いたところ、8名の方が実家の農地等を引き継いでいました。他の農家から借り入れた方が7名、農地中間管理機構(P25)を利用した方が3名いました。



経営改善を前向きに楽しむ

各川 豊章さん (38歳) 神明おのがわ農園

【富山市】



○就農状況

・平成29年度に36歳で実家の経営を引き継ぎ就農

○経営概況 [令和2年11月現在]

・個人(家族)経営

《面積等》

・水稲 3.5ha

・小松菜 20a(ハウス7棟)

《労働力》

・本人、妻、父、母

○今後の目標

・農業でも、人並みの生活を送れることを実践。

・地元仲間をつくり、地域活性化や農村振興などに取り組みたい。

○いきさつ

・関東の大学に進学後、不動産業に就職。いずれは地元に戻り起業したいと考えていた。実家が農家であったこともあり、農業も候補とし、農林水産公社に相談したところ「とやま農業未来カレッジ」の開校を知り、入校し農業の道に進むことを決めた。

・親から水稲経営を継承した。

○小松菜栽培を導入

・水稲だけでは先行きが不安であり、できるだけ早く技術を習得し収益を得ることを検討した結果、小松菜栽培を取り入れた。

○大事なこと・苦労したこと

・小松菜を栽培しているほ場は、水はけが非常に悪いので、独自にハウス周りに溝を掘る工夫を施した。

・就農時の借入が大きく資金繰りが厳しいが、いかに改善し経営状況を向上させるか前向きに考えることを楽しむ。

○経営の状況

・就農3年目より農業所得が黒字となった。



就農を目指す方へ

・独立就農は、栽培技術とともに会計、財務、労務管理の知識も必要で、実現可能な計画を立てること。

・開業資金はできるだけ確保すること。

・つらい時に話し合える仲間や先輩農家とのつながりが大切。

第三者
継承

子供の頃からの“あこがれの酪農”で独立

青沼 光さん (34歳) clover farm 【高岡市】



○就農状況

・平成27年度に28歳で第三者の経営を引き継ぎ就農

○経営概況 [令和2年11月現在]

- ・個人(家族)経営
- 《飼養頭数》
- ・乳牛85頭(経産牛45頭、育成牛40頭)
- 《労働力》
- ・本人、妻

○今後の目標

- ・富山県内の生乳自給率を上げたい。
- ・農泊による酪農体験。

○いきさつ

- ・広島県広島市出身で、実家は非農家。中学2年生の時にテレビで知った酪農の仕事に憧れ、広島県内の農業高校から大学の農学部に進学。卒業後、酪農家を目指して長野県や富山県の牧場で研修生として働き、経験を積んだ。
- ・富山県での研修の合間に、独立するための牧場の候補地を探していたところ、高岡市の農家からの紹介で、高齢により廃業を予定していた方の経営を引き継いだ。

○大事なこと・苦労したこと

- ・人とのつながりを大事にして人脈を作ること。
- ・就農時、前経営者から引き継いだ乳牛7頭を含め40頭以上飼育する計画を立てたが、導入牛の価格が高騰し計画どおりにはならなかった。

○経営の状況

- ・飼育頭数が増え、生産量は増加している。また、生乳の販売単価も高く、収支は黒字となっている。
- ・今後は、経産牛を50頭程度に規模拡大したい。



就農を目指す方へ

- ・自営を目指す場合、早く現場に入り実践を積んだ後に独立したほうがよい。
- ・楽しめる農業を目指して頑張してほしい。

協力隊員から農業を仕事に

中川 雅貴さん (33歳)

農事組合法人
国吉活性化センター

【高岡市】



〇いきさつ

- ・群馬県高崎市出身で、実家は非農家。高校生の頃、食料自給率や食の安全について興味を持ち、大学の農学部に進学。農業関係への就職について、「緑のふるさと協力隊」(*)を紹介され、隊員として高岡市国吉地区へ派遣された。
- ・1年間の任期終了後、地区の人たちの暖かさ、受け入れてくれる優しさにも触れ、もっと農業を学びたいと思い、農事組合法人国吉活性化センターに就職した。

〇就農状況

- ・平成24年度に24歳で農業法人に就農

〇就農先の経営概況

【令和2年11月現在】

- ・農事組合法人
国吉活性化センター

《面積等》

- ・水稻 40ha
- ・大麦 20ha
- ・白ねぎ

《労働力》

- ・役員6名(本人含む)、
パート5名



〇今後の目標

- ・将来的には、代表者になって地域の担い手として活躍したい。
- ・地域の離農者の農地を請け負うために人員を確保したい。
- ・水稻の収穫量を増やすために、栽培技術の向上を図りたい。

※1年間農山漁村に住んで、集落の住民と関わりながら、地域の活動に取り組む。



就農を目指す方へ

- ・「緑のふるさと協力隊」や「地域おこし協力隊」などの制度を活用し、地域の人たちや地域農業に触れてみてから、就農すればいいのではないかな。

島澤 耕平さん (38歳) 青二菜農園 【魚津市】



○就農状況

・平成25年度に30歳で独立して就農

○経営概況 [令和2年11月現在]

・個人(家族)経営

《面積等》

・水稲 12ha

・小松菜 25a(ハウス7棟)

・菌床しいたけ(12,500床)

《労働力》

・本人、妻、母、パート3名

○今後の目標

・水稲の規模拡大

・小松菜の通年栽培

・中山間地ならではのそば栽培

○いきさつ

・22歳で建設会社へ就職したが、実家が農家だったので、毎年、水稲の繁忙期に手伝いをしていた。

・国の補助金(旧 青年就農給付金)を活用することをきっかけに、30歳の時、父の小松菜栽培を譲り受け独立して就農。

・実家の水田は、兄が引き継いだので、借り入れにより水稲面積を拡大した。

・冬期間の仕事として、母が経営している菌床しいたけ栽培を手伝っている。

○苦労したこと・工夫していること

・小松菜の水やりを失敗して、病気でハウス1棟全滅した。

・小松菜ハウスを利用した水稲の育苗や防除作業を受託することで収入の確保を図っている。

○経営の状況

・就農1年目は赤字。小松菜栽培は、経費負担に比較して収入が少ないものの、2年目以降は、黒字になっている。



就農を目指す方へ

・ICTの導入など、農業は、「3K(きつい、汚い、危険)」の世界ではなくなっている。先進的農業が発達すれば、10～20年後の農業は、明るい。

中山間地で奮闘！農業は人を豊かにする！

稗苗 良太さん（34歳）ひえばた園 【魚津市】



○就農状況

・平成25年度に28歳で実家の経営を引き継ぎ就農

○経営概況 【令和2年11月現在】

・個人（家族）経営

《面積等》

・水稲 7ha

（化学肥料・農薬・除草剤の使用を控えて栽培）

・おやき製造

（米粉使用加工品）

《労働力》

・本人、妻、父



○いきさつ

・地元の中山間地では、農業は儲からないのになぜみんなは頑張っているのだらうと思っていた。

・大学生の時、ゼミの農村調査で訪れたラオスで、農業には人を豊かにする力があると感じた。当時、世界的不況から思うように就職が決まらず、農業での独立を決意。

・県内外の農家で有機農業等の研修を積み、28歳時に実家の水稲4haを父親から継承。

○水稲栽培を差別化

・父親の代では野菜栽培も行っていたが、中山間地のため鳥獣害被害により野菜栽培は断念。農薬や肥料の使用を控えた米作りで他との差別化を図った。

○大事なこと・苦労したこと

・地域で自分だけが頑張っても、地域が衰退すると生き残れない。

・米の販路開拓には苦労した。

○経営の状況

・農閑期の収入確保のほか水稲以外の経営多角化、女性が活躍できる場の確保のため、おやき製造を導入。自家生産の米粉と近隣農家が生産した野菜を使用。

・就農3年目に経営が安定した。

はさがけによる米の乾燥



○今後の目標

・中山間地活性化のための地域全体での法人化

・ドローンの導入

・「おやき」製造販売における食品衛生管理手法（HACCP）の導入

・イチジク栽培を行い加工品の製造販売

就農を目指す方へ

・農業は苦労は多いがいい仕事です。マイナスイメージも強いけれど、考えて経営すれば高所得も可能。

・人の命を預かる食糧を生産することにモチベーションを感じている。

上野 達也さん (50歳) ブルーベリーと山の幸 いなかふれさか 【氷見市】



○就農状況

・平成13年度に30歳で地元に戻り就農

○経営概況 [令和2年11月現在]

- ・個人(家族)経営
- 《面積等》
- ・ブルーベリー 80a
- ・Café風楽里
- (ブルーベリー茶、ジャム)
- 《労働力》
- ・本人、妻、アルバイト

○今後の目標

- ・子供たちの食育活動や職業体験を受け入れながら、今後も農業を通して地域の魅力を伝えていきたい。
- ・地元生産者による、ブルーベリーの栽培面積を増やしていきたい。

○いきさつ

・旅行会社の添乗員として国内外を訪れる中で「特定の場所に定住し何かを創り出す立場」になりたいという思いを持つようになり、就農を決意し財団法人ふれあいの里公社(石川県)で研修を受けた。

○ブルーベリーに将来性を感じる

・摘み取り体験やカフェなど観光的な経営ができることや冷凍保存が可能であり、加工が容易な点、健康食品として将来性があることからブルーベリーに決めた。

○大事なこと・苦労したこと

- ・開園後数年は摘み取り体験と直売のみのため年間を通しての集客に苦労。
- ・カミキリムシによる被害で一度に200株枯れたこともあった。今はその分を見込んで栽培。
- ・農業には地域活動が伴い、地域を守ることへの覚悟が必要。

○経営の状況

- ・妻が中心となり、カフェを開店。マスコミや口コミで顧客が広がり、現在は、カフェを含め黒字経営。
- ・農園、カフェ経営に加え、副業として学習塾も行っている。



就農を目指す方へ

- ・農業のプロであり、地域暮らしのプロを目指してほしい。

柴田 泰利さん (37歳) 有限会社泰栄農研 【砺波市】



○就農状況

・平成19年度に23歳で実家の経営を引き継ぎ就農

○経営概況 〔令和2年11月現在〕

・平成16年に(有)泰栄農研設立

《面積等》

- ・水稲 50ha(うち種子40ha)
- ・大豆 15ha
- ・トウモロコシ 7ha
- ・キャベツ(加工用) 7ha
- ・かぶ 20a
- ・トマト、小松菜等



《労働力》

・役員3名(本人、父、母)、従業員7名、パート10名

○今後の目標

- ・地域の景観維持、活性化のための事業・人づくり
- ・令和3年度末に、JGAP取得予定
- ・加工品の製造・販売の拡大

○いきさつ

・大学卒業後会社に勤めてから跡を継ごうと思って就職活動をしていたが、JAを退職した父への委託農地が多くなり、早く父の跡を継がないと手が回らなくなって地域の農地が荒れてしまうと思い就農した。

・農業は1年に1回の経験しか出来ないことから早いうちから経験を積むことが重要と考えた。

○野菜栽培を拡大

・水稲は父の時代から引き継ぎ。

・野菜は、かぶの栽培から始まり、その栽培の合間にトウモロコシを植えた。かぶの需要減少により加工用キャベツに切り替え。

・育苗後のハウスにはトマトや小松菜等の野菜を栽培。

○大事なこと・苦労したこと

・最初は農業の技術経験がなく苦労した。

・大事なことは、体力が一番で技術は後からついてくる。実践により、自分で気づき納得し、自分のものにする。

○経営の状況

・天候の影響は受けるものの、面積の拡大により売上げは増加傾向。



トウモロコシ畑にて



就農を目指す方へ

・農家の跡継ぎは、親の農業を見て農業を理解している。信念があるのなら頑張ってもらいたい。

・非農家の若者は、目標を持って将来独立に向けて頑張ってもらいたい。

宮崎 雄介さん (37歳) 宮崎ぶどう園 【砺波市】



〇いきさつ

- ・家がぶどう園を経営していたこともあり、小さい頃から父親の働く背中を見て育ち、跡を継ごうと決めていた。
- ・短大を卒業後、農業大学校で広く農業を学び、他県のぶどう園農家で研修し知識と見聞、技術を磨き、平成19年に実家のぶどう園に就農。

〇就農状況

- ・平成19年度に25歳で就農
- ・平成25年度に31歳で経営移譲

〇経営概況 [令和2年11月現在]

- ・個人(家族)経営
- 《面積等》
- ・ぶどう 1.6ha(30品種)
- ・直売所、カフェ
- 《労働力》
- ・本人、父、母、パート

〇工夫したこと

- ・ぶどう狩りを廃止し、観光農園型の農業経営から、贈答用需要の個人客にターゲットを絞った直売の経営に移行し、平成30年にカフェを併設した直売所を新設。
- ・カフェでは、規格外品を有効活用した生搾りブドウジュースなどを提供。
- ・SNSなどを活用し、宣伝広告費をかけずに口コミ集客を図る。

〇経営の秘訣

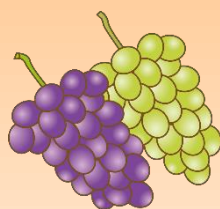
作物を作るだけではなく、作って、売るまでのマーケティングやブランディングにも取り組み、消費者から選んでもらえる仕組みを作ることが大切。

〇今後の目標

- ・オリジナル品種の開発
- ・より品質の高いぶどう作り

〇経営の状況

これらの取り組みの結果、認知度も上がり、顧客も増加。増収増益で推移している。



就農を目指す方へ

- ・農業は、生産から、加工、販売、お客さんの口に届けるまでを、一貫してプロデュースすることができる、多様な可能性を持った、魅力的な職業。

農業は儲かる！農業で勝負！

横山 重嗣さん（41歳） 【砺波市】



〇いきさつ

- ・祖父の代から農家で、父は種子生産に取り組んでいたが、農業を継ぐのが嫌で、電気屋に10年間勤務。
- ・父が還暦を過ぎた頃、経営継承について話をする機会があり、「農業は儲かる、農業で勝負していこう」と父の経営を引き継ぐことを決意した。
- ・自ら農業機械を操作することが格好良いと思い、操作も容易にできると思った。

〇就農状況

- ・平成19年度に28歳で実家の経営を引き継いで就農

〇経営概況

【令和2年11月現在】

- ・個人（家族）経営

《面積等》

- ・水稲 9ha
 - ・大麦 5ha
 - ・大豆 8ha
- 全て種子用

《労働力》

- ・本人、父

〇良かったこと

- ・地域の中で仕事ができることから、消防団の活動や子供たちの見守りなど、地元貢献できる職業が農業である。
- ・農繁期は忙しいが、時間を自由に調整できるため、農業以外の活動にも力を入れることができる。

〇経営の状況

- ・その年の気象条件により品質・収量に波はあるものの父の指導もあり経営は安定している。
- ・11月～3月の農閑期は、地元の酒造会社に勤務。

〇今後の目標

- ・父と2人で経営しているが、将来的には面積を拡大し従業員も確保した中で、IC等による未来型農業にチャレンジしたい。



就農を目指す方へ

- ・農業は自然にふれあうことができる。
- ・のんびりではないが、マイペースでストレス無く作業ができる。
- ・まずは、農業を楽しんでほしい。

憧れのいちご栽培を軌道にのせて

松本 剛明さん (43歳) アグリッチ農園

【射水市】



○就農状況

・平成20年度に31歳で独立して就農

○経営概況 [令和2年11月現在]

・個人(家族)経営

《面積等》

・いちご 35a(土耕栽培20a、高設栽培15a)

・もも 30a

《労働力》

・本人、母、パート3～5名

○今後の目標

- ・法人化
- ・6次産業化
- ・観光農園
- ・農福連携



○いきさつ

・平成18年頃までは教育や福祉の道に進もうと考えていたが、祖母の野菜作りの手伝いをして農業がおもしろくなり、興味をもってからは様々な本を読み農業にはまっていた。

・両親、妻の両親からは相当反対されたが、妻からの後押しがあった。

○「いちご」と「もも」を選択

・巨大いちごを作っている岐阜県の農家と出会い、付加価値のある儲かる経営をしていたかっこいいと思い、自分もやってみたいと栽培品目をいちごに決めた。

・いちごの農閑期に作業ができる作物として、ももを選択し、年間を通した作業を可能とした。

○苦労したこと

・いちごの経営が軌道に乗るまで、栽培方法が確立されているニラ栽培から始め、にんじん、ネギ、ブロッコリー等多品目に挑戦した。

・ハウスを建てるには排水性や除雪作業の面で条件の良い農地が必要なため、現在も農地の確保に苦労している。

○経営の状況

・平成26年にいちご栽培の規模を拡大し、就農6年目で採算がとれるようになった。

・いちごは口コミで好評を得て、当日収穫分は全て予約販売でなくなる状況。



就農を目指す方へ

- ・自然相手の仕事のため、思い通りにいかないこともあるが、その分うまくいった時の達成感は大い。
- ・農業技術だけでなく、良好な人間関係を築くコミュニケーション能力があることが長続きの秘訣。

森川 明浩さん (43歳) 株式会社森川牧場 【立山町】



○いきさつ

・父親が牧場を経営。当初は継ぐ気がなかったが、祖父の他界を機に手伝うようになり、次第に牛を育てることが面白くなって、15年間勤めていた会社をやめて就農した。

○大事なこと・上手くいったこと

・就農時に経営を見直し、どのような経営戦略を持つかが重要。
・就農当時は、子牛を購入して、育てた牛を販売する肥育経営であったが、子牛代が高く大きな利益は出ないと考え、子牛を産み育て、肥育する一貫経営に転換した。

○就農状況

・平成20年度に31歳で実家の経営を引き継ぎ就農

○経営概況 [令和2年11月現在]

・令和元年に(株)森川牧場設立

《飼養頭数》

・肉用牛 230頭

《労働力》

・役員(本人)、従業員(妻)、父、母

○経営の状況

・経営転換にあたり、周囲からは反対意見が多かったが、牛舎の改修や全国の同業者との交流によって技術を高めるなどして一貫経営に取り組み、収支は安定している。

・自力でブランド化に取り組み、今では「もりかわ和牛」として販売できるようになった。JA出荷と収益は変わらないが、こだわった生産・販売ができることに満足している。

○今後の目標

・繁殖、肥育の技術を高めたい。
・将来的に肉用牛300頭まで増やしたいので牛舎と堆肥舎を増築したい。
・県内外の肉用牛農家とグループを立ち上げて、連携を深めていきたい。
・消費者の「生の声」や反応を確かめるため直営店を持ちたい。



就農を目指す方へ

・農業は生活の根底にあるものであり食の確保は大事であることから、農業はこれからがチャンス時代ではないか。
・情勢が変わっても対応できるよう、常日頃から経営を考えることが重要。

米原 章浩さん (36歳) 株式会社ライスヒル 【入善町】



○就農状況

・平成24年度に26歳で実家の経営を引き継ぎ就農

○経営概況 [令和2年11月現在]

・平成29年に(株)ライスヒル設立

《面積等》

・水稲 7.5ha(有機栽培、特別栽培ほか)
・ミニトマト 15a(ハウス3棟)
・露地野菜 35a(さといも、ニンニク)

《労働力》

・役員2名(本人、母)、従業員(妻)、パート2名

○今後の目標

・ミニトマトの施設栽培は社員やパート従業員に任せ、自身は水稲20ha程度の規模拡大を目指す。
・離農者の農地の引き受けの他、作業受託等を積極的に取り組む。



○いきさつ

・水稲及びさといもを生産する農家の次男で、県外の金融機関に勤務していた。家業の農業を誰も継がなく、父から薦めがあり地元に戻って就農した。

○ミニトマト栽培を導入

・就農当時、水稲及びさといもの複合経営では先行きが感じられなかった。
・ミニトマトは、当時、近隣で栽培実績が少なく需要の見込みがあったことや加工適性から付加価値が生まれると考え、ミニトマトの施設栽培を経営に加えた。



○工夫したこと

・就農当時は農業経験はなく、1年でも早く野菜部門で収益を上げる目標をもって取組んだ。
・平成31年には、ASIAGAP(アジアギャップ)認証を取得し、営農に必要な情報を翌年の栽培に活かした。



○経営の状況

・就農当時は、自身がミニトマト・さといもの栽培、父が水稲の栽培と経営を分担し、水稲は父の代から経営は安定していた。ミニトマトは、経営開始後3年間は収量が少なく経営が苦しかったが、5年目から安定してきた。
・父が平成31年に他界し、現在は自身が水稲・ミニトマト・さといもの複合経営を行い経営は安定している。



就農を目指す方へ

・農業に興味があるなら飛び込んできてほしい。目標は、やりながらも持つことができる。

農林水産省では、農業を始めたい方向けのスタートアップサイト

「新・農業人ポータル」を開設しました！

「農業に関心がある」、「農業を始めたい」方向けの情報サイト、「新・農業人ポータル」を開設しました。この内容に加え、最新のセミナー情報や先輩農業者の事例等も見ることができます！

http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/index.html



新・農業人ポータル

興味はあるけど、
農業ってどう始めたらいいんだろう？



「興味はあるけど農業ってどう始めたらいいんだろう？」

農業法人等に就職する、自分で農業を始める、大きく2通りの始め方があります。どこと、何をやるのかによっても、仕事の内容は様々です。まずは、気軽に参加できる農業体験や先輩農業者等の事例を見て、自分の理想のイメージを描いてみましょう。

農業を実践的に学ぶことができる学校や、就業について何でも相談できる総合窓口、様々な支援施策もあります。

このページでは、「農業に関心がある」「農業を始めたい」という方に、スタートアップガイドとなる情報を紹介します。

新着情報

- ★ 新・農業人フェア 2019 の開催日程が決定しました。 (外部リンク)
- ★ 農の雇用事業第2回の募集を開始しました。 (令和元年 5 月 7 日)。 (外部リンク)
- ★ 農業版女性が働きやすい職場づくりの策等となる教材ができました。 (平成 31 年 3 月 18 日)。 (外部リンク)

アクションから探す

参加する・体験する



気軽に参加できるイベント・セミナーや農業体験等の情報

- ▶ イベント・セミナー (新・農業人スタート) (外部リンク)
- ▶ 農業インターンシップ (外部リンク)
- ▶ 新・農業人フェア (外部リンク)
- ▶ 農道 (外部リンク)

知る・調べる



就業の総合相談窓口、移住に関する情報

- ▶ 就業に関する総合相談窓口 (全国新規就農相談センター) (外部リンク)
- ▶ 移住ナビ (外部リンク)
- ▶ よくある質問と答え

学ぶ・研修する



事例を探す

新規就農者



就業を目指して研修中の農家



新規就農した先輩農業者

農業法人・農家等



農業の「働き方改革」実行宣言 (外部リンク)



主なりと光る農業法人・農家 2018 (外部リンク)



政府広報番組「なりたい農業No.1」を目指して農業も「働き方改革」実行 (外部リンク)

「参加する」、「調べる」、「学ぶ」といったアクションごとに情報を探すことができます。

新規就農者、農業法人・農家等の事例を紹介しています。

もう登録した??

農業でがんばる若い皆さんと、農林水産省とが
直接つながるはじめてのネットワーク
「青年新規就農者ネットワーク」でつながろう!



(いちのう)

愛称：一農ネット

「一年生農業者」から「一生農業でがんばる方」
までを対象に、ネットワークでつながります。

農業でがんばる男子☺! 農業を愛する女子☆!
まずはこちら↓から、メルマガ登録!!



QRコードでwebサイト
を表示できます

<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/reg.html>

◎農業次世代人材投資資金の交付対象の皆さん、農の雇用事業研修生の
皆さんへ重要なお知らせを発信します! 今すぐご登録ください!!

ページ内の「新規配信登録」から手続きを進めてください。

「青年新規就農者ネットワークメール(一農ネット便り)」にチェックを入れ、【確認】ボタンを押して登録!
登録確認・完了メール及びメルマガを受信するため、「@maff.go.jp」のドメインからのメールを受信できるよう設定をしてください。

若者の新規就農、応援します!



■ 就農に向けてがんばっている方や新規就農者の方ならどなたでも 参加できます

→ 就農希望者や新規就農者、農業法人で働く若者、また、そんな若者を応援する方ならどなたでも参加OK。
会費はありません。

■ 就農に向けた不安や農業経営に関する悩みを相談する仲間が見つ かります

→ 参加者同士が集まる交流会を開催。普段会うことのない地域の仲間や、同じ悩みを抱える仲間など、実際に会う
ことで一生の友ができるかも!?

■ 農林水産省からの情報がダイレクトに届きます

→ まずは農林水産省から送られる情報メールを受信。参加者にとって“使える”“分かる”情報を発信します。

■ 参加者のみなさんのご意見が今後の新規就農施策に反映されます

→ 参加者のナマの声を聞くため、農林水産省から、アンケートや質問メールを送信。あなたからの回答が明日の農政
を変える!?



問合せ先

農林水産省経営局就農・女性課 一農ネット担当

TEL 03-3502-8111(内線5195) E-mail syuuinou@maff.go.jp

URL http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syuinou/1nou.html

「とやま就農ナビ」をご存知ですか？

富山県内の就農希望者向け情報を一元的に発信するサイトです！

【掲載コンテンツ】

- 就農までの流れ
- 各産地の募集情報の紹介
- 県内農業法人の求人情報の紹介
- 就農関連イベントの紹介
- 先輩農業者のインタビューの紹介
- …など



二次元コードを読み取って、
今すぐアクセス！



あなたのチャレンジを
お待ちしております！

とやま就農ナビ

検索



とやま農業未来カレッジ

とやま農業未来カレッジは、富山県農業の担い手を育成するため、平成27年1月に開校した研修機関で、県から委託を受け、公益社団法人 富山県農林水産公社が運営をしています。

就農希望者に対する1年制の通年研修の他に、青年農業者の経営能力を高めるための短期の農業経営塾や一般農業者を対象とした公開講座を実施しています。

卒業実績：平成27年度（1期生）～令和元年度（5期生）64名、R2：14名（在学中）

座学講義

カレッジ指導員や多くの関係機関のスペシャリストから、栽培技術から流通・販売、農業経営等22科目の講義を受け、幅広い知識を身に付けます。



作物実習

サテライト圃場として先進農家や県の研究機関、環境制御型園芸ハウス、カレッジ園芸基礎ほ場（全11か所）で、主穀作や園芸作物の栽培技術の研修を行います。



機械操作研修



トラクターや田植機等の運転操作や効率的な機械作業、草刈機等の点検修理などを学びます。

公開講座



広く一般農業者等にも参加いただき、夏と冬の2回、県内外の著名な有識者のお話を聞きます。

進路指導



就農に向けた相談や就業計画の作成支援を行うとともに、農業法人等との交流会開催により、マッチングを行います。

お問合せ とやま農業未来カレッジ / 公益社団法人 富山県農林水産公社

〒939-8153 富山市吉岡 108 番地 TEL 076-461-3180 HP <https://taff.or.jp/nou/college/>

各種支援制度の紹介

農林水産省では、新規就農者をさらに増やすための様々な支援制度を用意しています。ここでは、主な支援制度9つについてご紹介します。

情報収集

体験・研修

就農開始

経営確立

☒ 起業

☒ 就職

☒ 継承

1

就農相談をしたり、自治体の支援制度や農地・家屋等に関する情報を収集したい

就農に関する総合相談窓口や、ウェブサイトがあります。

農業をはじめる、JP（全国新規就農相談センター）

各都道府県に相談窓口が設置されています。就農に当たっての相談をするならまずはここ！以下のような情報を幅広く得ることが出来ます。

農業を始めるまでのステップ

農業の職業体験、農地や住宅の確保

都道府県・市町村の就農支援情報

【お問い合わせ先】

全国新規就農相談センター（一般社団法人全国農業会議所）

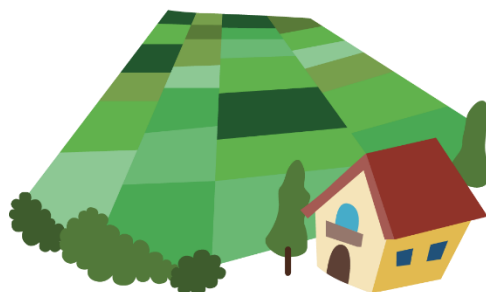
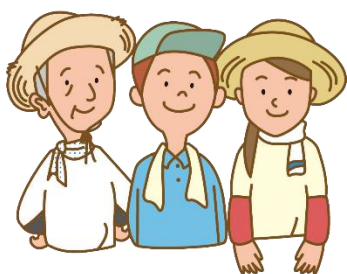
TEL：03-6910-1133

URL：<https://www.be-farmer.jp/>



※農地情報については、「全国農地ナビ」をご覧ください

URL：<http://www.alis-ac.jp/>



☐ 起業☒ 就職☐ 継承

2

農業法人等に就職するための情報を収集したい

「新規就農相談センター」や「ハローワーク」等で求人情報を紹介しています。また、全国の農業法人等の話を聞ける「新・農業人フェア」を開催しています。

農業をはじめ、JP（新規就農相談センター）

全国新規就農相談センターのホームページで求人情報を提供しているほか、各都道府県の新規就農相談センターで求人情報の紹介等を行っています。（問合せ先は1項参照）

就農相談会（新・農業人フェア）

農業に関心のある方・就農を希望している方と、農業法人・自治体などが一堂に会するイベントを開催しています。

農業就職・転職LIVE

人材を募集する、全国の農業法人、農業経営者が出展する合同会社説明会です。

農業EXPO

就農に必要な資金、技術習得、農地の取得等も含めて就農に関する総合的な相談ができます。

令和2年度「新・農業人フェア」開催予定日

新・農業人フェア 農業就職・転職LIVE

8/1(土) 東京 TKPガーデンシティPREMIUM池袋
10/17(土) 東京 TKPガーデンシティPREMIUM池袋
12/5(土) 大阪 アクセス梅田フォーラム
2/27(土) 東京 TKPガーデンシティPREMIUM池袋

新・農業人フェア 農業EXPO

7/26(日) 東京 東京ドームプリズムホール
9/27(日) 東京 池袋サンシャインシティ
11/14(土) 大阪 ハービスホール
2/7(日) 東京 東京国際フォーラム

【お問い合わせ先】

ユメックス株式会社

TEL: 03-4496-4013

URL: <https://www.shin-nogyojin-yumex.com/>



ハローワーク

大都市や農林漁業の盛んな都道府県地域のハローワークに、農林漁業就職支援コーナーを設置し、就業・就農等を希望する方に対して求人情報等の提供や職業相談等を実施しています。

【お問い合わせ先】

お近くのハローワーク

※ハローワークインターネットサービス

URL: <https://www.hellowork.go.jp>



3

農業法人等で研修を受けたい

研修先として、①農家・農業法人等、②自治体の農業公社等やJA・JA法人出資等があります。詳細については以下のwebサイトを参照したり、最寄りの新規就農相談センターへお問合せください。

①農業法人等で働きながら学ぶ

自営就農の前に、農業法人で従業員として働きながら生産技術、加工販売、経営管理などのノウハウを学ぶことも有効です。就農希望地の農業法人で働き、積極的に地域の人間関係を築くことにより、独立・自営就農に役立つ情報が手に入る場合もあります。農業法人によっては、独立就農を支援しているところもあります。

全国新規就農相談センター 求人情報

独立支援を行っている法人の求職情報はこちらから調べられます。

URL：<https://www.be-farmer.jp/recruitment/>



②自治体の農業公社やJA等で研修

全国各地の都道府県・市町村・農業公社・JAなどでは、新規就農希望者に対して独立就農するための研修を行い、地域農業の新たな担い手を育成しているところがあります。

研修地域での就農が前提となることが多いため、作目などが限られていますが、研修を受けた人が実際に就農できる可能性は高いため、自分の希望する就農スタイルと合致した場合は非常に魅力的な制度です。

就農支援情報

研修を行っている都道府県や市町村などはこちらから調べられます。

URL：<https://www.be-farmer.jp/support/search/>



JAの新規就農支援

研修を行っているJAについてはこちらから調べられます。

URL：<https://agri.ja-group.jp/support/start/>



【お問い合わせ先】

全国新規就農相談センター（一般社団法人全国農業会議所）

TEL：03-6910-1133

URL：<https://www.be-farmer.jp/>



又は各都道府県の新規就農相談センター

4

研修中の所得を確保したい

農業次世代人材投資資金（準備型）を活用いただけます。

農業次世代人材投資資金（準備型）

次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農前の研修を後押しする資金を交付します。（年間150万円、最長2年間）

※平成29年度以降の新規交付対象者から、国内での2年間の研修に加え、将来の営農ビジョンとの関連性が認められて海外研修を行う場合は交付期間を1年延長

農業大学校や都道府県が指定する先進農家・先進農業法人等で研修を受ける方で、以下の条件を満たす方が対象です。

対象となる方

- ① 原則として就農予定時の年齢が50歳未満の方
- ② 都道府県が認める研修機関でおおむね1年以上研修する方
- ③ 研修終了後1年以内に就農する以下のいずれかの方
 - ・ 独立・自営就農（7項中段参照）し、就農後5年以内に認定農業者又は認定新規就農者（5項参照）になる方
 - ・ 農業法人に雇用されて就農する方
 - ・ 親元就農し、就農後5年以内に経営を継承するか農業法人の共同経営者になる方
- ④ 原則として前年世帯全体の所得（親子及び配偶者の範囲）が600万円未満の場合
- ⑤ 研修期間中に傷害保険に加入している方

※ 常勤の雇用契約を締結している場合は原則対象になりません。

※ 以下の場合は返還となります

- ① 適切な研修を行っていない場合
- ② 研修終了後、1年以内に就農しなかった場合
- ③ 交付期間の1.5倍（最低2年間）の期間、就農を継続しない場合

【お問い合わせ先】

都道府県の農政担当窓口

※交付手続の流れや申請様式等については

農林水産省HP（農業次世代人材投資資金）を御覧ください。

URL：http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/roudou.html



5

認定新規就農者制度について知りたい

認定新規就農者になると、独立して農業を始める際に必要な機械・設備への投資資金や所得確保支援等の支援策が優先して受けられるなどのメリットがあります。

認定新規就農者

新たに農業経営を営もうとする青年等であって、市町村から自らの農業経営の目標などを記した「青年等就農計画」の認定を受けた方のことです。

認定新規就農者になると受けられる支援策

- (1) 農業次世代人材投資資金（経営開始型）の交付（7 項参照）
- (2) 青年等就農資金（無利子融資）の貸付け（8 項参照）
- (3) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金（9 項参照）
その他各種

認定の流れ



申請様式はこちらからダウンロードできます。

URL：http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/nintei_syunou.html



6

農地を確保したい

農業経営を自ら始めるためには、農地を借りる・買う必要があります。まずは情報収集から始めましょう。

農業をはじめる。JP（全国新規就農相談センター）

全国新規就農相談センターでは、就農希望者の農地の確保を支援するために農地の借り方や確保に向けた取組の紹介・相談を行っています。

農地中間管理機構（次ページ参照）と新規就農相談センターが連携を取り、就農希望者の条件に合う農地のあっせんを行う仕組みが来ています。

農地を確保する便利な仕組みの紹介

①全国農地ナビ

全国農業会議所が運営する「全国農地ナビ」では、インターネットを利用して、新規就農希望者が全国から借りたり、買ったりできる農地情報を得られます。

検索機能を活用して、農地の権利関係の状況確認や参入する地域の検討が可能です。

【お問い合わせ先】

「全国農地ナビ」

URL：<http://www.alis-ac.jp/>



②農地中間管理機構（農地バンク）

※基本的に都道府県農業公社です。多くは新規就農相談センターの役割も担っています。

農地中間管理機構（農地バンク）とは、農地を貸したい人から農地を機構が借り受け、新しく農業を始めたい方や規模拡大を進める農家へ農地を機構が貸し付ける「農地の中間的受け皿」組織です。

農地の出し手と受け手の間に公的機関が仲介するので、安心して農地を借りることができます。

【お問い合わせ先】

各都道府県の農地中間管理機構（農地バンク）

URL：http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/kikou/kikou_ichran.html



7

経営を始めて間もない時期の所得を確保したい

農業次世代人材投資資金（経営開始型）を活用いただけます。

農業次世代人材投資資金（経営開始型）

次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農直後の経営確立を支援する資金を交付します。（年間最大150万円、最長5年間）

農業を始めてから経営が安定するまでの方で、以下の要件を満たす方が対象です。

- ① 市町村で農業経営基盤強化促進基本構想に規定する青年等就農計画の認定を受けた認定新規就農者（5項参照）の方
- ② 原則として50歳未満で独立・自営就農する方
- ③ 就農する市町村の「人・農地プラン」（9項下欄参照）に位置付けられている方（見込みも可）、又は農地中間管理機構から農地を借り受けている方
- ④ 就農後の総所得（本資金以外）が350万円未満※の方
※ 平成24～26年度（平成26年度補正予算を除く）に交付を開始した者については250万円未満
- ⑤ 原則として前年世帯全体の所得（親子及び配偶者の範囲）が600万円未満の場合

※ 独立・自営就農とは、以下の条件を全て満たすことを指します。

- ① 農地の所有権又は利用権を交付対象者が有していること。（農地が親族からの貸借が過半である場合は、最長5年間の交付期間中に利用権設定をすることが必要です。）
- ② 主要な機械・施設を交付対象者が所有又は借りていること。
- ③ 生産物や生産資材等を交付対象者の名義で出荷・取引すること。
- ④ 経営収支を交付対象者の名義の通帳及び帳簿で管理すること。

※ 親元に就農する場合であっても、上記の要件を満たし、親の経営から独立した部門経営を行うかつ、親の経営に従事してから5年以内に継承する場合は、交付対象となります。

※ 農家子弟の場合は、新規参入者と同等のリスク（新規作目の導入や経営の多角化等）を負うと市町村長に認められることが必要です。

※ 園芸施設を所有する場合は、園芸施設共済等に加入することが必要です。

※ 夫婦ともに就農する場合は、夫婦合わせて1.5人分を交付します。複数の新規就農者が法人を新設して共同経営を行う場合は、新規就農者それぞれに交付します。

※ 以下の場合は返還となります

- ① 適切な営農活動を行っていない場合
- ② 交付終了後、交付期間と同期間の営農を継続しない場合

【お問い合わせ先】

市町村の農政担当窓口

※ 交付手続の流れや申請様式等については農林水産省HP（農業次世代人材投資資金）を御覧ください。

URL：http://www.maff.go.jp/j/new_farmer/n_syunou/roudou.html



8

新規就農時に機械・施設の導入等の資金を借りたい

青年等就農資金により、青年等就農計画に即して農業経営を開始するために行う機械・施設の購入等に必要な資金を無利子で貸りることができます。

青年等就農資金（無利子融資）

1. 対象者
認定新規就農者（**5** 項参照）
 2. 借入条件等
 - （1） 資金使途：施設、機械の取得等（農地等の取得は除く）
 - （2） 貸付利率：無利子
 - （3） 借入限度額：3,700万円（特認限度額 1 億円）
 - （4） 償還期限：17年以内
 - （5） 据置期間：5 年以内
 - （6） 担保等：実質無担保・無保証人
 3. 取扱金融機関
株式会社日本政策金融公庫
（沖縄県にあっては、沖縄振興開発金融公庫）
- ※1 農協等民間金融機関による転貸も可。
- ※2 予算の範囲内で実施されるため、融資の実行時期によっては、御希望に添えない場合があります。

【お問い合わせ先】

最寄りの都道府県、普及指導センター、市町村、
株式会社日本政策金融公庫、沖縄振興開発金融公庫



9

経営開始後に機械・施設等を導入したい

農業用機械・施設の導入等を行う際、融資残について補助金を交付する「強い農業・担い手づくり総合支援交付金」を活用いただけます。

強い農業・担い手づくり総合支援交付金 (地域担い手育成支援タイプ及び先進的農業経営確立支援タイプ)

実質化された人・農地プラン（下欄参照）に位置付けられた中心経営体や農地中間管理機構から貸借権の設定を受けた者等が融資を受け、農業用機械・施設の導入等を行う際、融資残について補助金を交付（補助率は事業費の3/10以内）します。

なお、認定新規就農者には、予算配分の決定の際に用いる配分基準ポイントが加点されます。

【お問い合わせ先】

市町村又は都道府県の農政担当窓口

実質化された人・農地プラン

次の①～③までの地域の話合いのプロセスを経て作成された5年から10年を見通した地域農業ビジョン

① アンケートの実施

対象地区内の耕地面積の少なくとも過半について、農業者（耕作者又は地権者）の年齢と後継者の有無等をアンケートで確認。

② 現況把握

①を地図化し、5年～10年後に後継者がいない農地の面積を「見える化」し、話合いの場で活用。

③ 今後地域の中心となる経営体（中心経営体）への農地の集約化に関する将来方針の作成

①、②を基に、農業者、自治体、農業委員会、JA、土地改良区等の関係者が徹底した話合いを行い、5年～10年後の農地利用を担う経営体（中心経営体）の在り方を原則集落ごとに決めていく。



農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。



現場の情報を
直接届ける！



欲しい情報を
サクサク
検索！



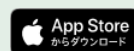
大切な情報を
Push通知！



農業に
役立つ情報が
直接届く！



ダウンロードは
こちらから
(無料)



農林水産省大臣官房政策課
TEL : 03-3502-8448

MAFF
Ministry of Agriculture,
Forestry and Fisheries
農林水産省

官僚系 YouTube チャンネル

BUZZ MAFF

ば ず ま ふ

日本の農林水産業を世界へ

農林水産大臣が
名誉編集長!



第4クール 2020年 秋スタート!

BUZZ MAFFとは? 農林水産省職員自らが省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さと農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。



日本茶チャンネル
日本茶好き「御茶村」がお茶会をしたりして、お茶について勉強しながら日本茶や茶道の魅力を発信します。



TASOGARE
私は公務員っぽいお堅い広報を面白く・分かりやすく変換するアダプター系男子です。



農業遺産で太鼓たたき隊
ラッキービレッジ吉村が、和太鼓スキルを活かして農業・農村の魅力を発信します!



突撃JASちゃんねる
筋肉+αトリオがアウトドアを通してJAS(国の制度!)の魅力を配信していきます!



くめ頑張る!
「くめ」と「かわい」のでこぼこコンビが、現地へ行ったり体験を通して林業を発信します。



ありが糖3兄妹
NEW 砂糖を愛する3人の子が糖職人がありあまる好奇心を全力投入してDIY要素の強い実験動画をお届けします!



わいん官僚ヒロキです。
NEW ワインエキスパートの獣医系YouTuber ヒロキが、日本ワインでバスマフを盛り上げます。



衣食住院正子の部屋
他では得られない一生役立つ豆知識! 官僚系絵師が画と声を担当します。



埼玉まンドリン
NEW 埼玉県出身のボーリーが、趣味のマンドリンを活かして、埼玉県の魅力のマンドリンの音色とともに発信する。



なまらでっかい道
北海道愛の強い若手職員が、元気ハツラツに、農業体験や郷土料理作りなどを通じて、北海道の魅力を発信!



東北MAFFバンド♪
JINと鈴木が東北の農林水産業をエアバンド風に紹介します! 動画の最後、まとめ歌で締めます!



今日も花がきれい
NEW 職場×花をテーマに「飾って・作って・歩いてみた」。



北陸の魅力発信
若手職員中心に、斬新な企画やおもしろ実験を通して、フレッシュに北陸の魅力を発信します。



TEAM TOKAI
農政局の職員が世代や経験の違いを生かし、バラエティに富んだ作品を発信します。



紀州備長炭 焼いてみた!
NEW 職員が炭焼き職人を訪ね、体を張って、紀州備長炭の魅力を伝えたい。



under construction!
NEW 故郷とサッカーを愛する2人を中心に耕作放棄地問題に切込む。Jクラブとのコラボも。



タガヤセキウシュウ
白石くんがリーダーを務める九州農政局のYouTubeチーム。ごらんあれ。

BUZZ MAFF Channelの登録&動画に「いいね」をよろしくお願いします▼

問合せ先

農林水産省大臣官房広報評価課広報室 広報企画班
【電話】03-3502-5594 (内線3072)
【メールアドレス】kouhoukikaku@maff.go.jp





【お問い合わせ先】

北陸農政局富山県拠点 地方参事官室

TEL 076-441-9305

FAX 076-441-9325

〒930-0856 富山県富山市牛島新町11-7 富山地方合同庁舎4F